



# 学校だより

平成 30 年 4 月 27 日

No.2 5 月号

横浜市立篠原西小学校

ホームページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/shinoharanishi/>

## 挨拶 & 自己肯定感 ④

校長 荒井 健

昨年度の学校だより 5 月号で、次のような問題提起をさせていただきました。

昨年度（平成 28 年度）の横浜市学力・学習状況調査「生活意識 自己意識調査」の本校児童の回答結果から「あいさつを自分からしていますか」と、「自分にはよいところがあると思いますか」（自己肯定感）の 2 項目が横浜市の平均値を明らかに下回っています。

そして、6 月号では、次のような仮説と取組についてご提案いたしました。

「あいさつを自分からしていますか」と、「自分にはよいところがあると思いますか」（自己肯定感）の 2 項目には、相関関係が読み取れます。「挨拶をすすんでできるようになれば、自己肯定感も高まる」という想定のもと、挨拶指導を通して自己肯定感を高める取組を進めていきたいと思っています。ご家庭、地域においても、ご理解ご協力どうぞよろしくお願いいたします。

さらに、2 月号では、校内における挨拶運動の高まりと広がりについて報告させていただきました。

さて、その結果、昨年度（平成 29 年度 2 月実施）の横浜市学力・学習状況調査「生活意識 自己意識調査」における、この 2 項目の結果は、次のようになりました。

あいさつを自分からしていますか (対 過去年度 同学年)



自分にはよいところがあると思います.. (対 過去年度 同学年)



「あいさつを自分からしていますか」と、「自分にはよいところがあると思いますか（自己肯定感）」のどちらの項目も、一昨年度に比べて「どちらかといえば～」も含めたプラス評価の割合が高まっています。また、最近 7 年間を比較したデータを見ても、どちらもプラス評価の割合が高まっていることが読み取れます。（挨拶… 2 番目に高い 自己肯定感… 1 番高い）

全校で意識して取り組んだことが成果につながったことは、とてもうれしいことです。ご家庭、地域においてご協力いただいたことも、この成果につながっていることと思います。誠にありがとうございました。引き続き、この挨拶運動へのご協力をよろしくお願いいたします。

さて、昨年度の横浜市学力・学習状況調査「生活意識 自己意識調査」の結果から、もう一つとてもうれしいデータを発見しました。それは、「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか。」という問いに対する 6 年生（現中学 1 年生）の答えです。「そう思わない」「どちらかといえばそう思わない」と答えた児童は、0 人でした。今年もこんな意識の子どもたちを育てたいと強く思います。

いじめは、どんな理由があってもいけ..

